

**課題**

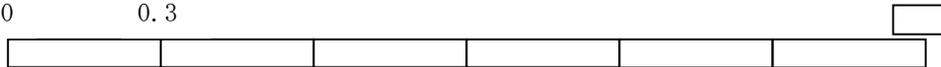
0.3L入りの牛にゆうを6本買います。牛にゆうは、全部で何Lになりますか。

0.3Lの6本分なので、かけ算の式になりそうですね。

0.3×6の計算の仕方を考えましょう。



0      0.3      (L)



0      1      2      3      4      5      6      (本)

**既習事項の想起**

① 0.3Lは3dLになるぞ。整数にすれば、計算できそうだな。

② 0.3は、0.1の3つ分だから、3×6で計算できるかな。

③ 一の位と小数の位に分けて、それぞれ計算すればできそう。

**自力解決**

(誤答例)

①【単位を変えて】  
0.3L=3dL  
dLの単位で考えると、3×6=18  
18dL=1.8L  
答えは1.8Lです。

②【0.1を基にして】  
0.3Lは、0.1Lを3こ集めたかさだから、3×6=18  
0.1Lが18こ分なので、1.8L  
答えは1.8Lです。

③【位ごとに分けて】  
一の位は、0×6=0  
小数第一位は、3×6=18  
0と18の間に小数点が入るから0.18  
答えは0.18Lです。



**指導上の留意点**

- 児童から考えが出にくい場合は、教師側が考え方を想定しておき、提示するようにしましょう。
- ③の考え方のような誤答が出た場合も、考えた過程をしっかりと発表させましょう。その後、集団思考において、何が違っているのかも合わせて、話合わせましょう。

**集団思考**

1 それぞれの考え方を確認する。

なるほど、こういう考え方もあるんだ。

2 それぞれの考え方を比べ、共通点をまとめる。

①と②、二つの考え方に共通していることはどんなことでしょうか。

小数の0.3を整数の3になおして計算しています。

③の考えにも、3×6の式がありますね。でも、どこが違っていませんか。

3×6=18の18は、本当は1.8なので、0と合わせる時に、位を間違えたと思います。

0.3×6の計算は、0.3を10倍して3×6とし、その積を10で割れば答えを求めることができます。

0.3 × 6 = 1.8

↓10倍 (単位をかえる・0.1を基にする) ↑10で割る (単位をもどす)

3 × 6 = 18



- 考え方を比較させる際には、比較の観点を絞って発問します。
- ここでは、①と②の考え方における、小数を整数としてとらえ、計算している点に着目させましょう。
- ③の考え方のような誤答については、どこが誤りなのかを全体で考えさせ、考え方のよさを認める部分と改める部分を確認しましょう。
- なぜ整数としてとらえて計算できるのかを、図式して説明しましょう。

ま  
と  
め

- 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)